

CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ
岡崎本社 ☎0564-24-2511
岡崎市吹矢町8番地
豊田営業所 ☎0565-28-3891
豊田市豊栄町6丁目1番地

国産合板商況

国産針葉樹合板の荷動きは精彩を欠いている。西日本では、西日本豪雨や9月に相次いで上陸した台風からの復旧需要から、いくらか荷動きが活発化しているようだが、木建ルートやプレカットなど直需ルートでは期待されていなかったほど需要は回復していない。ただ、西日本のメーカーでは12月厚系の在庫が少なく、トラック不足の影響も重なって納期に1

週間程度を要しているものの、焦って手当てするような動きはない。東日本では9月に比べるとプレカット会社への受注が伸びてきているが、回復感も期待されてはいるほどではない。メーカーは引き続き建値を堅持する姿勢だが、中間流通で安値品が見られることから、先安懸念が払拭しきれておらず、様子見ムードが漂っている。需要の回復は緩慢だ

が、年末に向けての物流にメーカーから懸念が生じている。既に西日本ではトラックが確保しづらくなっており、東日本でも農作物の出荷シーズンを迎えるので、徐々にトラックの確保が難しくなっている。特に東日本から西日本への物流はトラック、内航船とも既に確保が難しい。トラックは例年、年末に向けて確保が難しくなっている。夏場の豪雨や天候不順の後

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ラワン薄ベニヤ・・・		
	ラワン正寸12mm T2・・・		
	針葉樹12mm 3×6・・・		

ダイライトやダイロートの受注を一時停止 大建工業

大建工業（大阪市、億田正則社長）は、5日から原材料調達先の設備トラブルでロックウールの調達が非常に困難となつているため、「ダイライト」や「ダイロートン」などの関係製品の受注を一旦停止した。同社は「得意先や関係者様に大変なご迷惑、ご心配をおかけしますが、情報を整理した後に変更情報発信を行いたい」と話す。

受注を停止するダイライトは、表裏面にロックウール、心材には火山性ガラス質材料（シラス）を使用、ダイロートンはロックウール単層の素材だ。今回、影響を受ける製品はダイライト関係が、ダイライトMS、ダイライトMU、ダイライト軒天、かべ大将、SD耐火パネル、グラボシシリーズ、グ

ラビオエッジシリーズ、産業基材。ダイロートン関係は、クリアトーン、マリーナ、ビル・店舗用ダイロートン、さらりあーと、産業基材、オートテン、オトカベ（一部）。ロックウールは、高炉の副産物であるスラグを主原材料にしている。JFEスチール西日本製鉄所、倉敷地区（岡山県倉

敷市）が3基ある高炉の1基（第2高炉）を設備トラブルのため10月23日から休止した。そのため、高炉スラグを原料にロックウールを製造販売しているJFEロックファイバー（同県）も、同30日以降の新規発注の受付を辞退するなどロックウールの供給量が大幅に減少していることが今回の受注停止の原因だ。大建工業では、原材料調達先の設備トラブルによりロックウールの供給が30%程度になる見込みだ。これによりダイライト関係は月間1000

住宅新・改築にポイント

国交・財務、消費増税時の負担減

国土交通省と財務省は住宅の新築・改築にポイント付与する仕組みを導入する検討に入った。19年10月の消費増税を前に、住宅や消費の需要落ち込みを抑える策の検討が政府・与党で本格的になつてきた。15年の住宅エコポ

イントは一定の省エネ基準を満たした一戸建て住宅やマンションの購入、断熱改修に対し、1ポイントあたり1円相当のポイントを出す仕組み。新築購入や、断熱改修などの改築に30万ポイントを発行した。ポイントは商品券等に交換できた。国交省と財務省は対象となる住宅や改築の条件、予算規模を詰める。自然災害が相次いだため、耐震性能が高い住宅を対象にすることも視野に入れる。ポイントの交換は増税後の消費落ち込みを防ぐ観点から見直しを検討。19年度中にも始める可能性がある。

年末にかけてプレカット工場の仕事量が伸びるため、合板の引き合いも増すと見られるが、価格改定は難しそうだ。

円以下の人を対象に最大50万円を支給する予定だが、増額や条件緩和などの案を検討する。前回の消費増税は14年4月で、5%から8%に上がった。増税前の駆け込み需要で13年度に着工した住宅数は前年度比で10%増え、14年度は10%減った。